

やまだリハビリテーション研究所主催研修会

ケアマネとリハ専門職に対して「病院リハビリ、地域のリハビリ、ケアマネとの連携」これだけは言わせろ！！

主任ケアマネと地域セラピストの二人が言いたい放題の本音トークの講演会

開催

2018年6月10日（日）

13時半～16時半（受付開始 13時より）

会場

阿倍野市民学習センター 3階 講堂

地下鉄阿倍野駅下車 <http://osakademanabu.com/abeno/access>

定員

100名

参加費

3000円

終了後懇親会を予定

懇親会希望者は別途
参加費を徴収します

2人の講師の紹介

株) シャカリハ

三浦 浩史(理学療法士 主任ケアマネ)

1990年理学療法士となる。病院、施設勤務などを経て厚生労働省ケアマネジメントリーダーとなり、以後大阪府介護支援専門員法定研修講師となり、実務研修・専門課程Ⅰ・専門課程Ⅱ・更新研修・主任介護支援専門員研修の講師、大阪府ケアプランチェック事業の委員を歴任している。

2018年に(株)シャカリハを設立。

大阪のケアマネ業界では知らない人はいない超有名ケアマネでもある理学療法士



やまだリハビリテーション研究所

山田 剛(作業療法士)

1991年作業療法士となる。

リハビリ専門病院、老人保健施設、訪問看護ステーションを経て現在は非常勤掛け持ち作業療法士としてフリーで活動中。ブログ、SNSを駆使しながら情報発信する作業療法士として日々「書く」「話す」ことをしている。

大阪の訪問業界ではそこそこ有名なフリー作業療法士



実は同級生の2人がケアマネ、セラピストとしてそれぞれの立場から「入退院支援」「地域リハビリ」「リハマネ加算」他にもたくさん、ケアマネジャーとリハ専門職に対して言いたいこと言わせてもらう、本音トークの研修会です！！！！

株) シャカリハ 三浦 浩史が言いたいこと

<https://www.facebook.com/syakariha/>

今回の法改正で「自立支援・重度化防止」がさらにクローズアップされました。そこで、「自立支援」というキーワードを同じ意味で使っていますか？ 便利用語になっていませんか？ 今回この重点キーワードを明確に理解し、生活機能向上のためのケアマネジメント・連携加算など確認しましょう。

- ☑ 『自立支援・重度化防止』とは？
- ☑ なぜ、「ADL」ではなく『生活機能』向上なのか？
- ☑ 自立支援としての生活機能向上のための機能訓練・生活機能向上連携加算
- ☑ 「機能訓練」と「リハビリテーション」の違い
- ☑ リハ専門職の地域における役割と期待

など、リハ専門職とケアマネに知ってほしい「今」の課題を主任ケアマネの立場からお伝えします

やまだリハビリテーション研究所 山田 剛が言いたいこと

<https://www.facebook.com/yamada.reha.labo>

2018年はトリプル改定でした。高齢者のリハビリについてサマリー書くだけじゃなくて、入院時と退院時にケアマネとの連携が「入退院支援加算」として評価されるとともに、退院後の介護保険領域のリハビリテーションをスムーズに導入するために「リハ計画書」が診療報酬側と介護報酬側で統一されるという改定がありました。改定を受けて動けるセラピストいるのでしょうか？

- ☑ 病院リハビリと生活期リハビリテーションの連携のこと
- ☑ 病院セラピストとケアマネの連携のこと
- ☑ 「病院と同じリハビリをしてほしい」という生活期リハ問題のこと
- ☑ 「リハビリしてください」というケアマネ問題のこと
- ☑ 単位数余っているからリハビリ継続してください問題のこと
- ☑ リハマネ加算算定に向けて必要な行動

など、リハ専門職とケアマネに知ってほしい「今」の課題を作業療法士の立場からお伝えします

申し込み&お問い合わせ

やまだリハビリテーション研究所ホームページ <http://yamada-ot.com>



お問い合わせ info@yamada-ot.com